

2) 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）

【診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）の集計方法と定義】

- ◆ 各診療科別に患者数の多い DPC14桁分類について DPC コード、名称、患者数、自院の平均在院日数、全国の平均在院日数、転院率、平均年齢、患者用パス（任意）、解説を示す。
- ◆ 全国の平均在院日数は厚生労働省より公開された平均在院日数の全国値の数値を示す。
- ◆ 一般病棟の中における転科においては、主たる診療科は医療資源を最も投入した傷病の担当医が所属する科で集計する。
- ◆ 同じ疾患に対し複数科で診療を行った場合も、様式 1 に登録されている診療科（医療資源を最も投入した傷病の診療を担当した医師の所属する診療科）で集計する。
- ◆ 「転院」については、退院先が「4 他の病院・診療所への転院」とし、転院患者数／全退院数を転院率とする。

（注1*）DPC 対象病院とは厚生労働省により分けられており、大学病院本院群、DPC特定病院群、DPC標準病院群となっていて、現在当院はDPC標準病院群に属しています。

トップ5が10件以上ある診療科のみ掲載の対象としていますが、その限りではありません。

（精神科、皮膚・アレルギー科、放射線科、麻酔科、臨床検査科、病理診断科、リハビリテーション科は除外）

【出典】

DPC導入の影響評価に係る調査関連情報ホームページ
機能評価係数Ⅱの保険診療指数における「病院情報の公表」に関する資料 <http://www.prrism.com/dpc/2026/top.html>

内科

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	17	20.65日	13.42日	11.76%	61.59歳	
0400802499x0xx	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上） 手術なし 手術・処置等2なし	13	15.46日	16.10日	15.38%	84.15歳	
0400802299x000	肺炎等（市中肺炎かつ15歳以上65歳未満） 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし A-DROP スコア0	-	8.83日	8.33日	0.00%	34.83歳	
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	-	23.33日	20.49日	22.22%	86.67歳	
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。） 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	-	3.83日	2.56日	0.00%	80.33歳	
070560xxxxx00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	10.86日	14.45日	0.00%	65.00歳	
080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1なし	-	13.78日	13.00日	0.00%	60.11歳	
130090xx97x0xx	貧血（その他） 手術あり 手術・処置等2なし	-	10.17日	9.76日	0.00%	81.50歳	

【解説】

総合診療科は、様々な症状で来院される患者さんを診察しています。腹痛や便秘などを主訴に受診される患者さんの中には、精査の結果、悪性腫瘍の診断がつく方もいらっしゃいます。診断がついたのちは、すぐに専門科にコンサルトを行い適切な治療に繋げていきます。呼吸器症状で来院される方も多く、肺炎の診断となった場合は、その重症度に応じて入院での治療が必要になります。また、総合診療科は入院管理が必要な歯科口腔外科の患者さんの全身管理や抗菌薬治療を行うことがあります。歯科口腔外科領域の感染に関連して生じた扁桃周囲膿瘍、下顎膿瘍に対しては、耳鼻科と連携して扁桃周囲膿瘍切開術などの膿瘍ドレナージ術も行っています。（上記手術は専門科でそれぞれ行っておりますが、入院は総合診療科でされているため、当科での計上となっております。）

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
050070xx03x0xx	頻脈性不整脈 経皮的カテーテル心筋焼灼術 手術・処置等2なし	245	4.02日	4.43日	0.41%	67.90歳	
050050xx9920xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1-2あり 手術・処置等2なし	152	3.79日	3.26日	0.00%	72.87歳	
050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1-なし、1,2あり 手術・処置等2なし	136	4.97日	4.12日	0.74%	70.61歳	
050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1-1あり 手術・処置等2なし	106	3.39日	3.10日	2.83%	71.36歳	
050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等1-なし、1,3あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	97	8.01日	9.57日	7.22%	82.53歳	

【解説】

①対象疾患

急性冠症候群（急性心筋梗塞、不安定狭心症）を含む冠動脈疾患、うっ血性心不全、徐脈性不整脈（洞不全症候群、房室ブロック）、心室頻拍、急性大動脈解離、急性肺血栓塞栓症、閉塞性動脈硬化症等

②患者傾向

緊急に冠動脈カテーテル治療が必要な急性冠症候群（急性心筋梗塞、不安定狭心症）等、動脈硬化に起因する虚血性心疾患が増加しており、特に若年者の急性心筋梗塞や高齢女性の重症冠動脈硬化症が多い。また、ペースメーカ植え込みの適応となる徐脈性不整脈や心不全も含め、患者さんの高齢化が顕著で85～90歳以上の超高齢者も増加している。

③得意分野

当科専用の心臓カテーテル治療室とシネアンギオ装置を備えているため、夜間休日でも随時緊急の心臓カテーテル検査・カテーテル治療及びペースメーカ治療が可能である。

④診療実績

虚血性心疾患に対する心臓カテーテル検査、心臓カテーテル治療の総件数は共に増加傾向にある。下肢等の末梢動脈のカテーテル治療にも積極的に取り組んでいる。

消化器内科

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	288	3.48日	2.56日	0.00%	71.52歳	
060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	150	8.61日	8.76日	2.00%	78.59歳	
060050xx03xxxx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)選択的動脈化学塞栓術	52	7.44日	10.31日	1.92%	77.67歳	
060050xx04xxxx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として)等	39	6.87日	7.20日	0.00%	76.97歳	
06007xxx9910xx	脾臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	39	3.49日	4.04日	0.00%	71.23歳	
060050xx99000x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	35	8.63日	8.04日	2.86%	71.69歳	

【解説】

大腸ポリープと肝がんが入院患者の約1/4を占め、膵がん、胃がん、大腸がん、食道がん、胆嚢胆管がん、憩室炎、胆石・総胆管結石、慢性肝炎、肝硬変、消化性潰瘍、潰瘍性大腸炎等が上位を占めた。腹部血管造影検査、肝臓がんに対する血管造影塞栓術治療、ラジオ波焼灼療法(RFA)を実施している。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	85	3.25日	2.99日	0.00%	71.44歳	
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	49	16.31日	13.45日	14.29%	73.73歳	
040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	46	10.98日	7.92日	0.00%	66.33歳	
0400802499x0xx	肺炎等(市中肺炎かつ75歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし	39	23.87日	16.10日	17.95%	81.79歳	
040110xxxx00xx	間質性肺炎 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	37	21.70日	18.39日	13.51%	76.03歳	

【解説】

肺がん5割、肺炎、胸膜炎等の感染症が約1割、間質性肺炎が1割を占めている。その他に気管支喘息及びCOPD、慢性呼吸不全(在宅酸素療法等)、サルコイドーシス、アレルギー関連肺疾患、膠原病肺等のび慢性肺疾患など多岐に渡る疾患に対応している。

肺がんに対しては気管支鏡による診断を確定する体制と呼吸器外科や放射線科の医師と緊密に連携を図り、質の高い集学的治療を提供できる体制を取っている。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等手術・処置等2-1あり	59	27.37日	32.55日	10.17%	72.25歳	
110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	52	10.15日	11.00日	3.85%	53.52歳	
110280xx9902xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-2あり	42	9.38日	7.78日	0.00%	67.79歳	
110260xx99x3xx	ネフローゼ症候群 手術なし 手術・処置等2-3あり	27	2.22日	4.98日	0.00%	37.00歳	
110280xx991xxx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1あり	14	7.71日	5.91日	0.00%	41.64歳	

【解説】

ネフローゼ症候群、透析導入患者（アクセス手術あり）等治療日数を要する患者が多く、高齢者の増加もあり、平均在院日数は他診療科よりは若干長めになる傾向がある。

入院患者の主な対象疾患は、腎不全の進行による腎代替療法導入（血液透析80件/年・腹膜透析15件/年）、維持透析患者の合併症、外来診療での治療困難症例および検査（腎生検30件/年）、手術（血液透析アクセス関連手術130件/年、腹膜透析関連手術20件/年）、特殊治療（IgA腎症における扁桃腺摘出+ステロイドパルス療法）である。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
070560xxxxx00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術・処置等2なし 副傷病なし	34	20.09日	14.45日	11.76%	70.74歳	
070470xx99x4xx	関節リウマチ 手術なし 手術・処置等2-4あり	18	2.00日	2.82日	0.00%	66.44歳	
070470xx99x0xx	関節リウマチ 手術なし 手術・処置等2なし	10	22.90日	14.88日	30.00%	76.90歳	
070560xxxxx90x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術・処置等2-9あり 副傷病なし	-	48.80日	22.58日	20.00%	70.00歳	
080140xxxxx2xx	炎症性角化症 手術・処置等2-2あり	-	2.00日	2.83日	0.00%	57.33歳	

【解説】

①対象疾患

全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、関節リウマチ、多発性筋炎/皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、各種血管炎（高安動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症等）、ベーチェット病等

②患者傾向

高齢者に罹患率の高いANCA関連血管炎やリウマチ性多発筋痛症が増加傾向であるのと同時にそれらの治療に用いる副腎皮質ステロイドや免疫抑制薬・生物学的製剤の影響により感染症の合併による入院が増加傾向である。

③得意分野

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、その他膠原病・自己免疫性疾患全般。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等2-2あり	22	35.41日	35.10日	4.55%	64.41歳	
130030xx99x4xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2-4あり	20	7.45日	8.09日	0.00%	77.75歳	
130030xx99x6xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2-6あり	18	12.78日	15.41日	0.00%	61.11歳	
130010xx97x5xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等2-5あり	12	14.75日	21.81日	8.33%	82.50歳	
130030xx99xBxx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2-Bあり	12	20.08日	11.45日	0.00%	69.58歳	
130030xx97x60x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2-6あり 副傷病なし	11	32.18日	38.34日	0.00%	67.18歳	
130030xx99x0xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2なし	11	8.00日	8.66日	0.00%	65.00歳	

【解説】

比較的若年者急性リンパ性白血病患者さんが多い傾向にあったため、プロトコルの特性上在院日数が長めになったと考えます。造血幹細胞移植へ併存症なく全身状態を極力保って繋げるため、早期からのリハビリテーションや口腔ケアチームの介入は引き続き行っております。一方、依然として高齢者急性白血病の方も多く、積極的治療より対症療法を含めた緩和的介入を行った患者さんもおられ、在宅診療・看護へスムーズに移行していただけるよう心掛けております。

非ホジキンリンパ腫は、近年新規治療薬も多く治療が多様化しており、リツキシマブ+抗腫瘍薬以外に、大量メトトレキサート療法やBTK阻害薬などの導入目的での入院もありましたが、入院による廃用などを少しでも軽減するためいずれの入院でも在院日数短縮を心掛けております。例年に比して高齢の進行期リンパ腫の方が多く、再発後の積極的救援療法が困難なために転院を行う方については入院期間が長期化する傾向にありました。

糖尿病・内分泌内科

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
10007xxxxx1xx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)手術・処置等2-1あり	13	18.92日	13.56日	23.08%	71.00歳	
050140xx99x00x	高血圧性疾患 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	4.00日	7.34日	0.00%	57.33歳	
080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1なし	-	38.00日	13.00日	50.00%	65.00歳	
100040xxxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	17.67日	12.83日	0.00%	65.17歳	
100040xxxxx01x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 手術・処置等2なし 副傷病あり	-	13.00日	22.50日	0.00%	67.00歳	
10006xxxxxx1xx	1型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)手術・処置等2-1あり	-	11.50日	12.49日	0.00%	31.00歳	
100140xx99x00x	甲状腺機能亢進症 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	10.00日	9.63日	0.00%	40.00歳	
100180xx99000x	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	3.75日	5.34日	0.00%	66.25歳	
100250xx99x20x	下垂体機能低下症 手術なし 手術・処置等2-2あり 副傷病なし	-	4.00日	4.11日	0.00%	49.50歳	
100250xx99x21x	下垂体機能低下症 手術なし 手術・処置等2-2あり 副傷病あり	-	4.00日	7.21日	0.00%	71.50歳	
100260xx9710xx	下垂体機能亢進症 手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	-	25.33日	16.50日	33.33%	71.33歳	
100260xx99100x	下垂体機能亢進症 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	3.67日	5.26日	0.00%	57.33歳	

【解説】

糖尿病内科は、1型や2型を含めたコントロール不良な糖尿病に対して入院治療をおこなっています。

摂取カロリー過多や運動不足による肥満、高齢化が進行する現代において、糖尿病患者数は増加の一端を辿っております。他科と連携して糖尿病合併症の予防に取り組んでいます。

糖尿病・内分泌内科では健康診断で指摘された糖尿病予備軍から急激に血糖値が上昇し速やかな治療が不可欠な劇症1型糖尿病に至るまで、さまざまな糖尿病患者さんを診療する体制を整えています。特に、糖尿病教育入院では、医師、看護師、栄養士、薬剤師がチームとなって患者さんと向き合い、生活習慣の改善や糖尿病治療薬の最適化に取り組んでいます。さらに、他の診療科と積極的に連携を取り、糖尿病合併症の効率的な治療を心がけています。また、1型糖尿病には、血糖変動のモニタリング機能を有したインスリンポンプという最先端の機器を用いてインスリン投与量の最適化に努めています。いずれのケースでも治療の効率化を図っており、その結果、平均在院日数が全国平均よりもはるかに短くなっておりますが、入院期間は個々の患者さんの病態や社会状況により異なることにはご理解いただきたいと思います。

内分泌疾患の代表例である副腎皮質機能亢進症、とくに原発性アルドステロン症に関しては、病型により最適な治療法が異なりますので、できる限りの検査を行い、各患者さんに最適な治療法を提案することをポリシーとしております。そのため、若干全国の平均在院日数よりも長い入院期間となっておりますことをご理解いただければ幸いです。

脳神経内科

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
010060xx99x40x	脳梗塞 手術なし 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	33	22.48日	16.51日	42.42%	72.61歳	
010160xx99x10x	パーキンソン病 手術なし 手術・処置等2-1あり 副傷病なし	33	17.76日	19.02日	24.24%	68.58歳	
010060xx99x20x	脳梗塞 手術なし 手術・処置等2-2あり 副傷病なし	28	23.68日	16.60日	35.71%	74.68歳	
010080xx99x0x1	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 手術・処置等2なし 15歳以上	18	16.94日	15.35日	5.56%	47.89歳	
010110xxxxx40x	免疫介在性・炎症性ニューロパチー 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	12	16.33日	14.88日	16.67%	66.00歳	
010160xx99x00x	パーキンソン病 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	10	15.20日	17.22日	20.00%	69.00歳	

【解説】

急性期脳卒中の即時入院が多く、入院患者における脳血管障害の割合が多い。当院の特徴として、高齢患者が多いこと、その影響もあって脳塞栓の割合が高いことがあげられる。急性期脳血管障害の診療は、救急・集中治療科、脳神経外科、リハビリテーション科と緊密に連携しこれまで通り超急性期患者に対する血栓溶解療法（t-PA治療）に加え、脳神経外科スタッフによる血栓回収療法も開始され急性期対応も充実したため、2020年度には脳神経・脳卒中センターを開設した。適切な時期に回復期リハビリテーションへ移行することは脳卒中患者の機能回復促進に好ましいだけでなく、新規の急性期脳卒中患者を受け入れる為にも重要であるが、練馬区における回復期ベッド数の絶対数不足が解消されていない現状があり、脳血管障害患者をスムーズに回復期リハビリテーションへ移行できていないことが課題とされている。

パーキンソン病等の変性疾患も多く入院されている。パーキンソン病では、病気の進行により、薬物コントロールが困難になった症例や脳深部刺激術に代表されるDevice Aided Therapy導入目的に入院する症例が増えた。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
100250xx99x20x	下垂体機能低下症 手術なし 手術・処置等2－2あり 副傷病なし	98	2.94日	4.11日	0.00%	6.96歳	
040100xxxxx00x	喘息 手術・処置等2なし 副傷病なし	68	6.99日	6.32日	0.00%	2.60歳	
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	45	10.02日	13.42日	0.00%	1.76歳	
150070x0xx01xx	川崎病(2歳以上) 手術・処置等1なし 手術・処置等2－1あり	40	10.88日	9.65日	0.00%	4.08歳	
040090xxxxxxxx	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他)	38	6.05日	6.20日	0.00%	0.79歳	
161060xx99x0xx	詳細不明の損傷等 手術なし 手術・処置等2なし	38	2.00日	2.60日	0.00%	5.82歳	

【解説】

全ての領域の小児医療に対応しており、新生児疾患、神経疾患、腎疾患、心疾患、内分泌疾患、アレルギー疾患、感染症等の症例の診療を行っている。慢性疾患の入院では、成長ホルモン疾患の検査入院(成長ホルモン分泌不全性低身長症、SGA性低身長症、Turner症候群、軟骨異栄養症等)が多く、慢性腎疾患・夜尿症、神経疾患がそれに次ぐ。3次救急の指定病院となったことから、呼吸器疾患・川崎病・痙攣性疾患等の入院が増加してきている。

小児外科

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
060160x101xxxx	鼠径ヘルニア(15歳未満) ヘルニア手術 鼠径	117	3.28日	2.74日	0.00%	3.68歳	
140590xx97xxxx	停留精巣 手術あり	70	3.23日	2.95日	0.00%	4.94歳	
11013xxx04xxxx	下部尿路疾患 膀胱尿管逆流症手術(治療用注入材によるもの)等	32	3.38日	3.78日	0.00%	3.34歳	
060170xx02xx0x	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア ヘルニア手術 腹壁瘢痕ヘルニア等 副傷病なし	28	3.36日	6.85日	0.00%	3.00歳	
11022xxx01xxxx	男性生殖器疾患 精索捻転手術等	28	3.25日	3.54日	0.00%	8.36歳	
060570xx99x0xx	その他の消化器等の障害 手術なし 手術・処置等2なし	15	3.47日	6.93日	0.00%	5.73歳	

【解説】

新生児から15歳までのお子さんの、ほとんど全ての外科疾患の治療(手術)を行っています。 可能な限り体に負担のない手術を心がけていますので、多くの手術が内視鏡外科手術で行われています。

一般 : 鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、包皮異常、臍ヘルニア

新生児 : 消化器、泌尿器、呼吸器症状を伴う病態全般

泌尿器 : 停留精巣、水腎症、膀胱尿管逆流、尿道下裂、外性器異常、尿膜管遺残

消化管 : 虫垂炎、便秘、ヒシュスプルング病、胃食道逆流、消化管潰瘍、腸重積、腸閉塞、肥厚性幽門狭窄、肛門疾患、鎖肛、

肝胆膵 : 胆道閉鎖症、胆道拡張症、膵炎、胆石、脾腫

頭頸部 : 前耳介瘻孔、頸部嚢胞、リンパ節腫大、気管軟化症

体壁 : 漏斗胸、リンパ管腫、血管腫

腫瘍 : 胸部・腹部の良性・悪性腫瘍全般

新生児科

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
140010x199x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (2500g以上) 手術なし 手術・処置等2なし	20	9.30日	6.18日	0.00%	0.00歳	
140010x199x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (2500g以上) 手術なし 手術・処置等2-1 あり	16	10.13日	10.46日	0.00%	0.00歳	
140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処 置等2なし	10	15.40日	11.97日	0.00%	0.00歳	
140010x197x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (2500g以上) 手術あり 手術・処置等2-1 あり	-	8.00日	12.01日	0.00%	0.00歳	
140010x299x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処 置等2-1あり	-	20.00日	23.97日	0.00%	0.00歳	

【解説】

DPCコードにおける病名としては、妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害が大部分を占めています。これは東京都の地域周産期医療センターとして、産科において切迫早産をはじめとするハイリスク妊婦を24時間365日体制で受け入れているためです。約半数は緊急帝王切開にて出生し、新生児科管理となります。また、院外で出生した入院治療を必要とする新生児は、新生児搬送による入院受け入れを行っています。こちらは成熟児の呼吸障害が多いですが、35-6週出生の児も含まれています。また当院は小児外科を併設しているため、数は少ないものの外科疾患の母体搬送、新生児搬送も受け入れており、最近増加傾向にあります。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア(15歳以上) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	72	4.63日	4.56日	1.39%	71.47歳	
060035xx0100xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	64	14.83日	14.80日	3.13%	70.53歳	
060330xx02xxxx	胆嚢疾患(胆嚢結石など) 腹腔鏡下胆嚢摘出術等	35	5.03日	6.00日	0.00%	65.20歳	
060020xx02xxxx	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等	32	19.59日	18.45日	3.13%	74.44歳	
060035xx99x5xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-5あり	26	5.69日	4.36日	0.00%	77.35歳	

【解説】

食道・胃・大腸、直腸、肝臓、胆道、膵臓などのがんの診断・治療を中心に診療をおこなっています。さらに、がん以外の良性腫瘍や胆嚢結石症、急性虫垂炎、消化管穿孔などの治療も専門医を中心にチーム医療を行っており、幅広い疾患に対応しております。手術以外にも最新のエビデンスやガイドラインに基づいた抗がん剤治療や分子標的治療薬を行い集学的な治療を行っています。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
090010xx010xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))等手術・処置等1なし	149	9.28日	9.76日	0.00%	63.71歳	
090010xx02xxxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	59	4.36日	5.44日	0.00%	65.59歳	
090020xx97xxxx	乳房の良性腫瘍 手術あり	14	3.29日	3.95日	0.00%	41.29歳	
090010xx011xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))等手術・処置等1あり	-	22.00日	14.49日	0.00%	64.00歳	
070040xx99x0xx	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く。)手術なし手術・処置等2なし	-	5.50日	8.87日	0.00%	63.00歳	
090010xx99x0xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし手術・処置等2なし	-	15.00日	9.68日	0.00%	72.50歳	
090010xx99x2xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし手術・処置等2-2あり	-	14.50日	25.32日	0.00%	62.00歳	
090010xx99x31x	乳房の悪性腫瘍 手術なし手術・処置等2-3あり副傷病あり	-	46.00日	17.25日	0.00%	83.00歳	

【解説】

外科の中でも乳がん、乳がんに伴う症状に対する治療、乳房の良性腫瘍の治療を主に行っています。
診断・手術・薬物療法・放射線治療などの治療をエビデンスに基づいた内容で多職種で連携して提供できる体制を整えています。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
040040xx02x0xx	肺の悪性腫瘍 肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は 1 肺葉を超えるもの等 手術・処置等2なし	88	11.33日	9.75日	0.00%	70.50歳	
040200xx01x00x	気胸 肺切除術等 手術・処置等2なし 副傷病 なし	23	9.17日	9.44日	0.00%	34.61歳	
040020xx97xxxx	縦隔の良性腫瘍 手術あり	15	7.53日	7.54日	0.00%	60.67歳	
040030xx97xxxx	呼吸器系の良性腫瘍 手術あり	-	8.43日	8.45日	0.00%	67.57歳	
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	-	19.56日	13.45日	11.11%	74.67歳	

【解説】

対象疾患

悪性疾患としては、原発性肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔悪性腫瘍、胸膜中皮腫を主に扱い、良性疾患としては、嚢胞性疾患（自然気胸、巨大肺嚢胞）、胸腺腫、膿胸、炎症性腫瘤などを対象に診療を行っている。

肺癌手術を中心に、他気胸、膿胸等の準緊急疾患については麻酔科と調整しながら緊急枠にて手術を行っている。

呼吸器内科、関連各科と連携し、高齢、合併症のある方も周術期管理を綿密に行いながら積極的に手術を行っている。手術以外にドレナージ、気管支鏡検査目的の入院もあった。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
050180xx02xxxx	静脈・リンパ管疾患 下肢静脈瘤手術等	44	1.25日	2.57日	0.00%	69.68歳	
050163xx03x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 ステントグラフト内挿術 手術・処置等2なし	28	11.57日	10.25日	3.57%	79.04歳	
050080xx0111xx	弁膜症(連合弁膜症を含む。) ロス手術(自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)等 手術・処置等1-1あり 手術・処置等2-1あり	18	27.06日	32.09日	0.00%	74.50歳	
050163xx01x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術等 手術・処置等2-1あり	18	18.83日	27.21日	5.56%	75.94歳	
050050xx0111xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 心室瘤切除術(梗塞切除を含む。) 単独のもの等 手術・処置等1-1,2あり 手術・処置等2-1あり	12	22.83日	26.54日	0.00%	72.42歳	
050170xx02000x	閉塞性動脈疾患 動脈形成術、吻合術 指(手、足)の動脈等 手術・処置等1-なし、1あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	11	10.55日	14.85日	0.00%	74.18歳	

【解説】

高齢者や全身の併存症を有する患者や、複合手術を要する患者の増加により重症化している状況である。術後の合併症予防のためにも、各診療科及びリハビリテーションも含め術前から時間をかけて治療を行う患者も増加している。

大動脈弁治療や、僧帽弁治療においては小切開手術や人工心肺時間の短縮など低侵襲手術を心掛けている。術後の治療については紹介元・順天堂大学医学部附属病院・関連病院を利用し、リハビリテーションが必要な患者に対して転院の上、治療継続することもある。

狭心症・慢性虚血性心疾患に関しては、心臓カテーテル検査だけではなく、脳血管評価(MRIなど)や全身末梢血管の評価も同時に行っている。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
010060xx99x40x	脳梗塞 手術なし 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	62	19.76日	16.51日	53.23%	76.19歳	
010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	46	20.98日	18.40日	65.22%	65.37歳	
010030xx991xxx	未破裂脳動脈瘤 手術なし 手術・処置等1あり	40	2.98日	2.80日	0.00%	61.28歳	
010030xx02x0xx	未破裂脳動脈瘤 脳血管内手術 手術・処置等2なし	20	7.50日	8.56日	0.00%	60.85歳	
010060xx99x20x	脳梗塞 手術なし 手術・処置等2-2あり 副傷病なし	19	20.11日	16.60日	68.42%	74.00歳	

【解説】

症例数は、血栓回収療法を含めた急性期脳血管障害の治療に積極的に取り組んだこと、当直回数は減らしながらもオンコール体制や院内の協力体制を整えて救急患者を積極的に受け入れたこと、麻酔科医師をはじめ、医療スタッフが救急医療に積極的に対応したこと等が挙げられる。

また、専門化・細分化が進む中、当院のみで全ての症例に最善の治療を提供することは困難であり、順天堂医院脳神経外科グループの多大なるご協力をいただいた。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
07040xxx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。）人工関節再置換術等	182	19.50日	18.55日	21.98%	69.18歳	
070230xx01xxxx	膝関節症（変形性を含む。）人工関節再置換術等	104	23.10日	21.21日	4.81%	75.15歳	
160620xx01xxxx	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。）腱縫合術等	98	10.45日	12.51日	0.00%	32.27歳	
160800xx02xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	50	34.80日	24.75日	68.00%	78.48歳	
160760xx02xxxx	前腕の骨折 骨内異物（挿入物を含む。）除去術 前腕、下腿等	18	6.22日	3.07日	0.00%	45.67歳	

【解説】

関節疾患医療、スポーツ医療、交通災害、労働災害あるいは自然災害に対する外傷医療、高齢化社会になり益々需要が増加しつつある高齢者医療等を扱っている。

対象疾患としては整形外科疾患全般に対応しているが、特に股関節外科や膝関節外科、スポーツ外傷は専門的な治療を行っているため症例数が多い。また脊椎外科や手の外科、肩関節外科、小児整形外科の分野にも専門性を持って対応している。

形成外科

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
070010xx970xxx	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。)手術あり 手術・処置等1なし	24	5.33日	4.67日	0.00%	51.67歳	
180060xx97xxxx	その他の新生物 手術あり	12	4.42日	5.62日	0.00%	27.92歳	
100100xx97x1xx	糖尿病足病変 手術あり 手術・処置等2あり	11	56.64日	47.37日	18.18%	68.55歳	
080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外) 皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等2なし	-	5.86日	6.76日	0.00%	79.86歳	
090010xx05xxxx	乳房の悪性腫瘍 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	-	8.43日	7.33日	0.00%	46.86歳	
100100xx97x0xx	糖尿病足病変 手術あり 手術・処置等2なし	-	16.50日	24.77日	0.00%	68.00歳	

【解説】

形成外科での主な対象疾患は、皮膚良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍、眼瞼下垂や眼瞼内反症などの眼形成疾患、アザ、レーザー治療、顔面挫創、顔面骨骨折、熱傷、ケロイド・肥厚性瘢痕、難治性潰瘍、副耳などの小児先天異常、陥入爪など多岐にわたります。

入院全体としては腫瘍の切除が主で、それに続いて副耳、乳房再建、足病変、顔面骨骨折などの治療が多くなっています。

糖尿病性足病変などは長期入院となりますが、全国平均よりも入院期間が短くなっています。これは、訪問診療や転院調整など地域医療連携がスムーズなことが、この結果を反映しているものと思われます。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり	308	2.05日	2.45日	0.00%	71.98歳	
110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等2なし	171	8.12日	6.79日	1.17%	74.47歳	
110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	80	10.54日	10.98日	0.00%	70.80歳	
11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎(尿管)悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	44	7.23日	10.12日	2.27%	65.73歳	
110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	35	7.83日	7.77日	2.86%	74.14歳	

【解説】

当科では、前立腺がん、膀胱がん、腎がんなど、泌尿器科悪性腫瘍に対する手術療法、薬物療法などの集学的治療に積極的に取り組んでいるため、入院患者さんは悪性腫瘍治療目的が大半を占める。

泌尿器科悪性腫瘍に対しても、新規分子標的治療薬や免疫治療薬の登場により治療選択が増えているが、高齢の患者さんが多く、安全な外来治療に移行するためには十分な入院導入治療が欠かせない。

手術療法も、現在は内視鏡手術とロボット支援手術が中心であり、従来の開腹手術や腹腔鏡下手術と比べると入院期間の短縮は顕著となった。

ロボット支援手術の適応範囲が広がったことから、今後さらに患者負担が減ることが期待される。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	440	8.00日	4.24日	0.00%	77.61歳	
020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	345	4.32日	2.47日	0.00%	74.80歳	
020200xx9710xx	黄斑、後極変性 手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	44	10.02日	5.34日	0.00%	69.84歳	
020150xx97xxxx	斜視（外傷性・癒着性を除く。） 手術あり	40	3.08日	3.07日	0.00%	19.28歳	
020160xx97xxx0	網膜剥離 手術あり 片眼	38	13.24日	7.35日	0.00%	54.74歳	

【解説】

①対象疾患

角膜・結膜疾患、白内障、網膜・硝子体疾患、緑内障、斜視・弱視・先天異常等の小児眼科疾患、外傷等眼科全般の疾患に対応する。

①患者傾向

白内障の件数が多い為高齢者の割合が多い。乳幼児・学童から幅広い年齢層の患者さんとなっている。

②得意分野

網膜硝子体手術、白内障、斜視手術

③診療実績

傾向としては白内障が多く、件数として全体の約2/3以上を占めている。硝子体手術は現在、主に25G小切開硝子体手術で行っている。また、以前より緑内障の手術が増加し、緑内障は低侵襲緑内障手術など積極的に加療しております。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
030350xxxxxxx	慢性副鼻腔炎	68	6.10日	5.74日	0.00%	54.06歳	
030250xx991xxx	睡眠時無呼吸 手術なし 手術・処置等1あり	53	2.00日	2.02日	0.00%	63.02歳	
030250xx970xxx	睡眠時無呼吸 手術あり 手術・処置等1なし	33	8.18日	7.95日	0.00%	7.30歳	
030230xxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	31	8.06日	7.32日	0.00%	11.97歳	
030240xx97xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 その他の手術あり	29	8.45日	8.25日	0.00%	25.31歳	

【解説】

①対象疾患

耳疾患：難聴、めまい、顔面神経麻痺等

鼻疾患：アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症、肥厚性鼻炎等

咽頭・喉頭疾患：音声障害、嚥下障害等

頭頸部腫瘍、睡眠時無呼吸症候群

②診療実績

耳・鼻・のど、頭から頸部を幅広く取り扱う科であり、その一環として順天堂医院と密に連携し、耳鼻咽喉・頭頸部の様々な疾患に対して取り扱うことのできる体制を構築している。

鼻科学に関して従来の慢性副鼻腔炎に対する内視鏡手術に加え、副鼻腔腫瘍にも適応を広げ、また重症アレルギー性鼻炎に対する手術療法を積極的に取り入れている。

順天堂医院の耳・頭頸部腫瘍グループと連携し、より多くの頭頸部疾患に対する治療の充実を図っている。

頭頸部腫瘍に対する手術実績が例年を上回った。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	109	3.17日	3.99日	0.00%	62.96歳	
120010xx99x30x	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-3あり 副傷病なし	105	3.10日	3.99日	0.00%	56.28歳	
140010x199x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(2500g以上) 手術なし 手術・処置等2なし	87	6.22日	6.18日	0.00%	0.00歳	
12002xxx01x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	65	9.95日	9.63日	1.54%	60.23歳	
12002xxx02xxxx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部(腔部)切除術等	46	3.96日	2.90日	0.00%	45.17歳	

【解説】

①当科の対象疾患

産科：妊娠 合併症妊娠 異常妊娠 産科合併症 産科救急

婦人科：婦人科悪性腫瘍（卵巣がん 子宮頸がん 子宮体がん）

婦人科良性腫瘍（子宮筋腫 子宮内膜症 卵巣嚢腫）

初期子宮体癌に対するロボット支援下手術・腹腔鏡手術

②診療実績

(1)産科：東京都地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠、ハイリスク分娩数が増加している。

(2)婦人科：早期・進行癌ともに婦人科悪性腫瘍の増加しており、円錐切除術、開腹手術、ロボット支援下手術ともに増加している。進行癌への術後治療として、化学療法に加えて免疫チェックポイント阻害薬の投与も増加している。

救急・集中治療科

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
161070xxxxx00x	薬物中毒(その他の中毒) 手術・処置等2なし 副傷病なし	176	2.62日	3.49日	29.55%	30.20歳	
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	49	6.94日	20.49日	61.22%	82.27歳	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	49	3.35日	7.84日	4.08%	36.08歳	
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	36	5.14日	6.63日	27.78%	66.97歳	
0400802499x0xx	肺炎等(市中肺炎かつ75歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし	30	5.77日	16.10日	46.67%	86.47歳	
100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	30	6.43日	9.42日	23.33%	66.77歳	
161060xx99x0xx	詳細不明の損傷等 手術なし 手術・処置等2なし	24	2.17日	2.60日	0.00%	45.33歳	

【解説】

救急搬送数が年間約8,000件となり、地域救急の基幹病院としての役割を果たしている。特に緊急を要す脳卒中、頭蓋内損傷、出血性消化管出血の初期治療の対応、周術期の全身管理を行っており、前述の治療に関しては状態が安定したら専門疾患の診療科への対応している。

看護師、臨床工学技師、感染対策室と協力してsemi-closed ICU(集中治療医と主治医を連携した管理体制)を運営しており肺炎、腎臓・尿路系の感染症に対する治療に対しては集中治療を行っている。体外循環を必要とする重症患者の受け入れも年々増加している。